

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	誰にでも理解しやすい具体的な内容にしてあり、利用者さん・ご家族の目に触れやすいようリビングに掲示し、職員の休憩室やミーティングルームにも掲示する事で常に意識できるよう努めています。		2ヶ月に一度、推進会議を開催していましたが、現在社内事情により中止となっていますので整いしだい再開して行きたい。
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念が日々の実践に結びつく具体的な内容になるよう朝の申し送り・臨時及び定期カンファレンスを開催し取組んでいます。理念は常に目につきやすい場所に掲示しているので気をつけることができます。		・利用者様一人一人を尊重している。 ・自由に発言出来る環境である。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	定期的に運営会議(家族会)を開催し、町内会長さんにも参加して頂き、理解して頂けるよう取組みを行って来ましたが現在は社内事情により中止となっています。		社内事情が整いしだい再開して行きたい。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内会にも入会し町内清掃にも参加しています。エルム祭も事前に回覧板に掲載して頂いたり、町内にちらしを配ったりしています。散歩中にお花を分けて下さった方や後で庭に実ったぶどうを持って訪ねて下さる方もいらっしゃいます。		・エルム祭ではエルム内も開放し、食券なども事前にお配りし気軽に参加して頂いています。 ・散歩の時などはこちらから挨拶やお話をお互いさせて頂くようにしています。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	エルム祭でのホーム開放や行事の時も回覧をお願いし年々参加者が多くなっている。清掃活動にも参加。町内ゴミ拾い等利用者さんと共に参加。		受身にならずこちらから声を掛け、気軽に立ち寄って頂けるよう常に笑顔で近隣の方々に接するようにしています。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	近隣の病院に利用者さんの作品を展示依頼があり参加しています。		利用者手作りの雑布の町内会へ寄付して行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		<p>具体的に改善すべき点がある場合、すみやかに対処している。</p>
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		<p>2ヶ月に1度運営推進会議を行い、町内会長さん・入居者様・入居者様のご家族・ワーカーが参加し、意見交換を行なって来ましたが、社内事情により只今中止となっています。</p> <p>社内事情が整いしだい再開していきたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>西区管理者会議に管理者と職員が参加し、指導を受け、サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>常に連携がとれる体制である。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		<p>成年後見制度の活用を支援している。</p> <p>勉強会に積極的に参加する。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない注意を払い、防止に努めている。</p>		<p>虐待についてのニュースや報道を話題にし、防止について学ぶ機会を設けている。</p> <p>現在、当ホームでの虐待はありません。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		<p>ご家族と話し合いの場を持ち、不安や疑問点を聞いたうえで十分な説明を行なっている。</p> <p>契約時、書類等を読み上げ、理解をして頂いている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関にアンケートBOXを設置したり、利用者さん全員と管理者・職員での話し合いの場を設けている。苦情相談の連絡先を明記したポスターを貼っている。</p>		<p>現在苦情はなく、直接意見等を聞き、理解して頂いている。</p>
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>毎月各室担当者よりご家族の方へ手紙を出し、近況報告をしている。気にかかる事や急ぎの時は電話にて相談・報告を密にしています。</p>		<p>毎月の手紙での様子を知る事で安心して頂けている。</p>
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の方とお会いした時や電話連絡の時には不満や要望・苦情に対する事等を話題に触れてカンファレンス開催時に伝え検討しながら実施している。</p>		<p>何かあった場合は前向きに受け対応させて頂いています。</p>
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会議を設け意見交換をしている。それぞれの意見を出し検討し実施している。</p>		<p>事務長・管理者と意見交換し、改善すべき事は実施している。</p>
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>柔軟に対応できる様、全フロアー勤務調整を行い連携を取り合い協力をしています。ボランティア参加の調整を行なっています。</p>		<p>全フロアー勤務調整をスムーズに実施。</p>
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>異動は少人数とし、職員は日常から他階の利用者さんと交流を持つようにしている為、ダメージは軽減されていると思います。</p>		<p>異動が決定した時点で各フロアー勤務者と少しずつ交代している等で利用者さんに不安を与えないよう接しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	機会ごとに研修への参加を促し出席している。	これからはホーム独自の教育カリキュラムを組み実施してゆく。
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	取組んでいる。	同区内のグループホーム空き状況の報告。入居者さんの紹介、勉強会を実施している。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	その都度職員の相談受付などで対応している。	食事会カラオケ等リフレッシュする機会を設けている。
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	勉強会などを開き各自向上心を持っている。	スキルアップの為の時間協力体制がととのっている。(本人の希望)
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	本人が入居に至るまで十分に話し合い、区の担当者と相談し進めている。本人の希望を取り入れる体制を取っている。	本人がしたい事、したくない事を引き出す機会を作っている。
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族と意見交換の場を作り、要望を逃す事なく聞く。	話しやすい環境作り。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	その都度、事務長・管理者・ケアマネージャーを含め、臨時カンファレンスを開催したり、利用者さん全員に参加して頂き、話し合いの場を設け協力を得るようフォロー全体で本人に対して支援している。		利用者さんを中心とし、ご家族の精神的安定・安心を含め、相談対応しています。
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	利用者さん全員参加で話し合いを行っており、家庭的な雰囲気の中で馴染みながらのサービス提供が実施しやすい。ご家族の訪問も多く近況報告もしているため理解も得られている。		一対一でのコミュニケーションを大切に、何を望んでいるのか考える上での参考にしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	自尊心・誇りを傷つけないよう配慮しながら、本人が思っている現実に合わせた支援を行なっている。個々の得意分野を活かした生活を提供することで互いに支え合った生活をしています。		支え合う関係ができている。家庭的な雰囲気でも職員も利用者さんに教えることも多い。
28 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	各居室者担当者ご家族とのコミュニケーションが取れているので、確認しながらよい関係を築く事ができていると思う。		ご家族と話し合い、同じ目線で物事を考え、より良い方向への介護をしている。ご家族の辛い心情も察して、その旨受け入れている。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族関係のトラブル等の相談を受け、協力・解消に努めている。また行事に参加して頂き、今の利用者さんを認め理解して頂ける場を提供しながら支援を行なっています。		入居前にクッションを作っておくことにより良い関係となっています。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族が宿泊したり、友人が遊びに来られています。電話も自由に使用することが出来、耳が聞こえづらい方には職員が代わりに聞くなどの対応を行なっています。		連絡が途切れないよう、ご家族・友人への電話や手紙の声掛けを行なっています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食事の時間やティータイムの時間を一定にし、ホールに来やすいようにしている。食事の片付けを全員にお手伝いして頂いています。		トランプやゲームなどのレクリエーションの場や食事の時間を利用し、関係作りを行なっています。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	法要の際、花を届けたり、退所後にも行事へのお誘いをする。		左に同じ。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者さん自身が好きなことを行なえる時間をもうけています。食事でも利用者さんの希望を聞き、取り入れています。		外食や買い物の機会をもっとふやして行きたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人との会話やご家族からの情報をもとに、フェイスシート・私の情報シートを記入・作成している。職員同士での情報を共有している。		個人ファイルを作成し、情報をわかりやすくまとめている。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	入居時、家族より情報を得、入居後も見守りの中でリズムをつかむようにしている。		記録により、一人一人の現状を把握できる様になっている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	月に一度、ケース会議をして職員間で情報を共有し、ケアマネージャーと協力し、職員全員で考えている。計画作成時には家族と話し合いする場を設けている。		統一した介護ができるよう、会議や申し送りでチームでの介護計画について話し合いの場を設けている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	本人の希望を基盤とし、ご家族に介護計画の内容を説明した上で意向を聞き、カンファレンス時に介護専門員のもと職員の意見も取り入れて計画を作成し期間に応じた見直しをしています。		本人の現状に合わせて見直しを行い、ご家族に相談のうえ、カンファレンス(毎月)にて再検討しています。
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	毎日の介護日誌や毎月行なっているケアプランのまとめで、日常の様子を記入しまとめている。カンファレンス時に意見交換を行い、情報を共有している。また会議も記録してあり常時観覧することができる。		日々一人一人の体調を観察し、順次対応しています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	イベントの際、ご家族の方がホームに来られ、入居者さんと一緒に過ごされています。病院の通院、入院送迎の支援など。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の方が宿泊される際には、入居者さんと食事を一緒に提供しています。</li> <li>・ご家族の要望にて亡くなられた時に通夜・告別式をホーム内で対応しました。</li> </ul>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察への協力依頼をしています。</li> <li>・消防署とは防災訓練を通じてつながりができています。</li> </ul>		地区センター(ダンスサークル)交流が深まっている。研修等にも参加しています。
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の希望を聞いたうえで、必要に応じた対応ができています。</li> <li>・病院のケースワーカー・ケアマネージャーとの交流もあります。</li> </ul>		病院のデイサービスを活用している。
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。			

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>・月2回の往診、看護師の配置。 ・本人に納得して頂けるよう薬の説明等行なっている。</p>		<p>薬剤師の講義を聞く機会を設ける。薬に依存しない様に方向づける。</p>
<p>44 認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>各専門医の協力を頂き、治療を受けている。</p>		<p>定期的に健康診断(脳検査等)の実施。</p>
<p>45 看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>・看護師を採用している。 ・訪問看護と契約し、週一回の検診を実施。</p>		<p>常時看護師に相談し、指示を仰げる体制を作っている。</p>
<p>46 早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>医師・看護師との情報交換を密にし、早期退院に努める。</p>		<p>相談できる体制の確立(カ族・病院)</p>
<p>47 重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>ご本人との日常の中での会話、ご家族との話し合いの結果、ホームでの終末を希望される場合、医師(医療機関)と相談し、ご家族と連携し対応している。</p>		<p>職員同士での話し合いを密にし、常に情報の共有化を図っている。</p>
<p>48 重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>医師・ご家族・看護時と連携し、体調面や精神面でも本人の希望に副ったものになる様努力している。ターミナル日記を設け情報の共有化をしている。</p>		<p>心のこもった、心残りのない様ケアをさせて頂きご本人の理想の終末期を過ごせる様努力し、取組んでいる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	ご本人・医師・ご家族と話し合いの場を持ち、その結果を職員間で情報共有する事でダメージを防ぐと共に住替えをスムーズにしている。		移り住んでからも連絡を取り、ホームでの生活の写真を持参するなど交流を持っています。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	言葉遣いや表情に充分注意し、個人情報を外部に持ち出す事なく徹底した情報管理をする事で漏洩を防いでいます。		個人情報の徹底管理を職員で心がけ、申し送り等のイニシャル対応を実施しています。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	ゆっくり話す場を設け、その時その場に依じた声掛けを行い忍耐強く働きかけ見守る中で自己決定の場が増える様支援しています。		耳の不自由な方には筆談を用いて。居室にて個別対応の実施をしている。
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人の希望やペースを尊重し、できる限りの希望にそっての支援をしている。		外出や畑仕事、ぬり絵、パズル、体操等個人が趣味を楽しめる環境作りを実施しています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ご家族の了承を得て、訪問理美容院を利用し、個々に自分らしい服装を楽しみ身だしなみが整っている。		化粧や好みの衣服を選んで着用しているホーム内に理美容師も来ています。
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	慢性疾患を持った方もありますが、医師と相談の上、健康状態に合わせ対応している。臨機応変にメニューも変更しています。可能な場合はお手伝いをして頂いています。		調理のお手伝いやアドバイスをして頂いております。食器拭き、洗い物のお手伝いをして頂いております。入居者様と畑で育てた野菜を食卓に出し、収穫の喜びを共有しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>入居者様の病状、体調を考慮の上、医師とも連携しながら一人一人の状況に合わせた対応をしている。</p>		<p>ご家族や医師に理解・了承を頂き喫煙をされている方もおられます。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握できる様に記録を取り、声掛け・誘導もさりげなく、ご本人が傷つかず気持ちよく排泄できる様支援しています。</p>		<p>個々の排泄パターンにより対応している。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>入居者さんとコミュニケーションを図り、楽しく個々のスタイルを尊重し、希望に副える様支援させて頂いています。</p>		<p>本人の体調や希望によりその都度対応しています。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>個々のリズムを尊重し自由に居室にてゆったりとした時間を過ごされています。灯りの強弱や室温、音にも注意しています。</p>		<p>居室に濡れタオルを掛け湿度の調整をしています。ベッド回りの清潔を保っています。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>ご本人の希望を伺い、個人の趣味や生活暦を日常の生活の中に取り入れ、楽しみのある生活の支援をしています。</p>		<p>・個々の残存能力に応じたお手伝いをして頂いています。 ・菜園を設け、種植えから収穫までを入居者様を中心にしていただき、楽しみになっています。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>・個々にお金を管理しているがご家族が希望される場合は弊社で管理している場合もあります。 ・個人の希望に沿い個別の買い物にも対応しています。</p>		<p>自分の財布からお金を出し、買い物をする楽しさ、大切さを感じて頂ける様支援しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	近所の公園まで散歩に出かけたり個々の体調に合わせて距離を変え疲れな程度に対応しています。嗜好品をスーパーに買いに出かけたり、宝くじを買いにと希望にそった対応を心掛けています。		個々の趣味にそって畑仕事をしたり、季節折々の風景に親しんで頂けるように散歩を日常生活にとりいれたりと一人一人のその日の希望にそった支援をしています。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言っていたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	グループで又は個人対職員で話し合いを設け小樽へお寿司を食べに出かけたりお芝居見学・紅葉を見にドライブに出かけたりしています。		ご家族と共に外出し、思い出作りをできる機会を作ってあげたい。
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	自由に電話を使用する事ができるが、自分でかける事が出来ない方にはこちらからかけてあげて会話を楽しんで頂いております。		日常的にプライバシーに配慮し、手紙や電話の利用を支援している。
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	職員はいつも穏やかな態度と笑顔でお迎えし、お茶を入れたり気安い雰囲気信頼のおける関係が成り立つよう心掛けている。		ご家族と入居様が安心してゆったりと過ごせる雰囲気作りをこれからも努めていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員が正しく認識し、身体拘束のない支援をしています。		拘束にならないか事務長を交え、職員で必ず検討している。
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	7:00～17:00まで開放。夜間は防犯上の理由から施錠をしている。		ご家族・町内会の理解協力のもとで入居様が日中、自由に出掛ける事ができる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	常に見守りやすい場所において様子を把握している。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤帯ではこまめな巡回</li> <li>・入居者様の一人ひとりの位置と様子を把握</li> </ul>
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬・洗剤・刃物等の保管場所を明確にしている。		安全に気をつけて保管・管理に努めている
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故を未然に防ぐ為に個々の状態を把握し職員同士情報を共有し事故防止に取り組んでいます。		事故報告書を活用し安全な生活ができるように取組み対応している。
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急手当について消防署の練習を受けたり緊急対策マニュアルを作成し事務長・管理者との連絡が24時間可能である。		救急救命の講習を回数多く参加し緊急のマニュアルの把握を職員で再確認をする。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練の実施や防災知識向上の為に社内講習を行なっています。運営推進会議の場にて、地域の方に協力を求める話し合いをしています。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回の避難訓練の実施</li> <li>・各入居者さんに応じた避難マニュアルの作成</li> <li>・常に新たな防災知識を見に付ける様専門機関による講習の実施。</li> </ul>
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	常にご家族と話し合い個人のプライバシーを尊重しながらも生活の妨げにならない様に見守りを行なう。		行動など無理におさえつけることのない生活の中での安全対策にさらに気を配る。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に相談・対応できる医療機関の確保(歯科・医師・訪問看護師)</li> <li>・日頃より個々の健康管理に注意し緊急マニュアルに対応している。</li> </ul>	<p>24時間連絡がとれるようになっているのでその都度指示を受けたり職員が速やかに対応できる。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の温度板に薬表を付けていつでも見えるようにしている。</li> <li>・変更時は必ずチェックし変化に十分注意・記録申し送りを実施する。</li> </ul>	<p>医師の指示通り服薬出来るよう支援し症状の変化の確認につとめている。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維質の食材を多く取り入れ調理する。</li> <li>・午前・午後と2回の排便チェック、トイレで排便したらコールをして頂き、便の量、硬さをチェックする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽い運動を毎日実施。</li> <li>・ホットパック、腹部をマッサージを実施して個々に対応している。</li> </ul>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケアの声掛けと共に介助にて支援。</li> <li>・定期的な歯科検診。</li> <li>・洗面台の棚の上に歯ブラシを置き、いつでもできるようにしてある。</li> </ul>	<p>一人で最後まで出来ない入居者様に職員が支援している。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の水分量を温度板に記録し水分補給に配慮。</li> <li>・塩分・糖分総量を個々の健康に管理の下注意している</li> </ul>	<p>体調・飲みこみの状態の悪い入居者様には弱食・トロミ食・キザミ食の支援をしている。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応マニュアルがある。</li> <li>・介護者が病原菌の媒体者にならないように注意する。</li> <li>・手洗いうがいの励行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザの予防接種をしている。</li> <li>・掃除の徹底(ブリーチにて掃除しています)</li> <li>・嘔吐した時、バケツを用意その中にマスク・手袋・消毒液等一式用意して対応できるようにしている。</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理用具・台所廻り等アルコール消毒。</li> <li>・食材は冷蔵庫・暗所に置く。</li> <li>・グローブの着用。</li> </ul>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果断の手入れ。・清潔を保つ。・施錠せず開放。・駐車場を広くあけている。</li> <li>・座って靴を履く事が出来る様椅子を設けている。</li> </ul>		家庭的な雰囲気を中心掛けている。
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングの空間を広くしてゆったり過ごせるスペースがある。</li> <li>・清潔に気を付ける。</li> <li>・季節に合わせたディスプレイをしている。</li> </ul>		入居者の意見、要望を取り入れ、居心地良く過ごせる居場所の提供工夫につとめる。
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆったりと腰をおろせるソファを用意し、気の合った入居者様が会話を楽しんでおられる。</li> <li>・ソファベッドがあり休む事も出来る。</li> </ul>		孤立しがちな入居者様が日常生活の中で自然に交流できるよう支援したい。
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具・生活用品・装飾品等を持ち込まれ家庭的な雰囲気の中で安心して生活をして頂く。		入居者の意見の基に居心地良く過ごせるように工夫している。
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気扇をつけている。</li> <li>・窓を開け空気入れ替えをしている。</li> <li>・タオルをぬらし乾燥しないように各居室に1日に2回かけなおす。</li> </ul>		定期的に窓を開けたり温度調整をする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		<p>車椅子の方が安全で楽に移動が出来るよう環境整備に気をつけています。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		<p>・お風呂場にはお風呂用の暖簾をかけている。 ・目線の高さに貼るなどの工夫をしている。</p>
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		<p>・畑に自由に出て行く事が出来、収穫したり手入れが出来る。 ・果断の横の駐車場を利用して行事を行なう事が出来る(祭やバーベキュー等)</p>

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

サービスの実績に関する項目		取り組みの成果
項目		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input checked="" type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

利用者様と御家族の関わりを支援し、一緒に食事や外出の機会の提供を行い、三者共になじみの関係を築き、開放的で安心していただけるホーム作りに努めています。